

# 人吉市災害ボランティアセンター活動報告

(令和3年3月末日現在)

[人吉市社会福祉協議会]

## 【ボランティアセンターの概要と活動】

・ 名 称	人吉市災害ボランティアセンター
・ 住 所	人吉市鑿作町1531-1(東間コミュニケーションセンター) (12月から西間下町41-1・社協一帯へ移転)
・ 災害発生	令和2年7月4日(土)
・ 開 設	令和2年7月10日(金)

(開設当初から10月19日までは、球磨村との合同センターとして活動した。10月20日以降、球磨村は、さくらフォームに独自のセンターを開設して活動を開始した。)

・ 設置目的  
住まいの応急復旧による「生活空間の確保」

・ 活動日数  
102日(7月・8月は毎日開設、9月・10月・11月は週末の金・土・日曜日に開設、12月以降は週末の土・日曜日

・ 活動人数  
18,774人(ボランティアとして受け付けた人の延べ人数)

・ 最多人数  
1,208人/日(7月23日(木・祝日))

・ 平均人数  
約184人/日

・ ニーズ数  
1,120件(ボランティアの受け入れを希望された件数)

(うち380件はキャンセル)  
(キャンセルの主な理由は、初期のニーズが集中した時期に、ボランティアから出向いて活動する前に、親族、職場の同僚、民間のボランティアなどにより活動が完了したというもの)

・ 対応件数  
1,683件(ボランティアが活動した延べ件数)

・ 完了件数  
715件(活動が完了した件数)

・ 実施件数  
25件(現在実施中であるもの、今後実施するもの、家主の都合等のため活動できず保留しているものなど)

月別活動状況

活動月	活動日数	ボランティア人数	1日当り人数	二一受付件数	対応件数	完了件数
7月	20日	7,095人	355人	794件	611件	190件
8月	28日	7,231人	258人	129件	564件	268件
9月	10日	1,807人	181人	43件	116件	46件
10月	14日	1,106人	79人	60件	148件	99件
11月	13日	768人	59人	38件	140件	19件
12月	6日	455人	76人	18件	61件	25件
1月	0日	0人	0人	13件	0件	61件
2月	4日	132人	33人	10件	15件	5件
3月	7日	180人	26人	15件	28件	2件
合計	102日	18,774人	184人	1,120件	1,683件	715件

※ 12月26日から1月13日まで年末年始休暇、引き続き1月14日から2月

17日までコロナ禍（県緊急事態宣言）のため活動を休止した。

※ 1月は活動を休止したが、民間ボランティア活動分、確認調整分等を計上している。

【ボランティアセンターの運営と対策】

・コロナ対策

・ボランティアの受け入れを県内に限定してきた。

【理由】発災当時は、市内の医療機関の多くが被災し、医療体制が十分ではなかったため、また避難所に多くの人が密に近い状態で滞在していたため、市内に絶対コロナを持ち込んでほ

ならないという強い危機感があり、比較的的安全と判断した

県内に限定して受け入れた。

- ・チェックリスト、検温、手指消毒、マスク着用、3密回避（複線化・バスワッシュ・サフライト）などの対策も併せて行った。

- ・状況が改善したと判断し、11月1日から九州内に拡大して、受け入れを開始した。

- ・県が独自の緊急事態宣言を発令したので、それを受けて1月14日から2月17日まで活動を休止した。再開後も受け入れを県内に限定している。

・熱中症対策 盛夏期には、一部で熱中症の症状による救急搬送等もあったので、こまめな休憩、水分補給を徹底した。

・ボランティアバス 9月末まで熊本県、熊本市の運営によるボランティアバスを熊本市と人吉市の間で運行していただいた。  
・大型バス2台(20人乗車×2台=40人/日)

・スタッフ 県社協・県内社協・郡内社協職員、民間ボランティア団体(青年会議所、ライオンズクラブ、やませみ、民生児童委員、郡婦連など)をはじめ、多くの関係団体の皆さんから人の派遣及び資・機材や支援物資の提供などのご協力をいただきながら、20～40人/日の体制で運営してきた。

・連携団体 社協ボランティアによる活動が困難な案件(重機作業、天井・高所作業、庭・外構・農地作業、空き家作業、事業所作業、公的集会所作業など)については、専門的な知識・技術・経験や重機・工作機械などを持っている民間ボランティア団体と連携・協働し、支援を受けながら取り組んできた。  
・11月には「トヨタ・フレックグループ」の支援を受け被災地のローラー調査を行って、ニーズの確認、掘り起こしを行うとともに、社協ボランティア活動に民間ボランティア団体の活動も加えた進捗状況をマップングしてもらうことができた。  
・また、11月からボランティア団体「結」に運営の支援を受け、12月から「ピースボート」にも運営の支援を受けながら連携して活動してきた。

・経過と現状 12月から活動拠点を東間コミセンから西間下町の社協一帯に移転し、規模を縮小して引き続き活動した。  
・活動日は、原則として毎週土・日曜日  
・潜在的なニーズ(支援活動が必要だが申し込まれていない人など)をローラー調査で掘り起こしたが、引き続き支援が必要な人への対応を行っていく必要がある。

・避難所が閉鎖され仮設住宅等への移住が完了し、住まい再建に向けて本格的な検討が始まっていること、また仮設商店街もオープンし、なりわいの再建も進んでいることに鑑み、3月から「人吉市災害復興ボランティアセンター」へ移行した。

## ・今後

- ・現在でも、現地再建か解体移転か、など判断に迷っている被災者の方も多く、今後もニーズが寄せられてくるので、住まいの復興に向けて引き続き対応していきたい。
- ・現在の手持ちニーズが終了したら、毎週土・日曜日に定期的に活動するのではなく、ニーズの状況に応じて随時（不定期）に活動する方式に移行する。

## 【参考】令和2年7月豪雨被害状況

[令和3年2月末日現在：人吉市発表]

### 【人的被害】

- ・死者 20人
- ・負傷者 18人
- ・避難者数 1,263人（避難所：最大時）

### 【住家被害】

- ・浸水区域 曙橋上流から大柿までの球磨川両岸 518㌔
- ・全壊 899棟
- ・半壊 1,449棟（大規模半壊、準半壊等を含む。）
- ・一部損壊 295棟
- ・床上浸水 275棟
- ・床下浸水 156棟
- ・罹災合計 3,074棟

### 【支援対象世帯数】

- ・仮設住宅 338世帯
- ・市営住宅 136世帯
- ・みなし仮設 472世帯
- ・在宅 2,252世帯
- ・合計 3,198世帯（市全体の約2割）

[令和3年3月末日現在：地域支え合いセンター報告]